

【今回の内容について】

2017年9月から Brown University に学部生として留学しております辻琴音です。今回の報告書では、渡米してから4ヶ月間の大学生活について報告致します。

【授業開始まで】

- 引越し

引越しとはいっても、手荷物のほかに日本から送ったものは少数の衣類のみで他は現地で調達しました。私自身の移動も最寄の空港まで学校関係者の方が車で迎えに来て、学校の寮まで送り届けてくださったため、特に問題なく学校に到着しました。Brown University に留学生が多いためでしょうか、学校側のサポートがとても良いと感じました。生活必需品はあらかじめ Amazon で注文して学校の郵便ボックスに送っておきました。しかし私が寮に到着したのが土曜日の夕方であったため、学校の郵便局が開く月曜日までそれらを受け取ることができずに結構困りました。

- オリエンテーション

初めに留学生新入生向けのインターナショナルオリエンテーションが数日間あり、VISA、銀行口座設立、携帯電話設定などの説明を受けました。次にアメリカ人を含む一般新入生を対象としたオリエンテーションがまた数日間あり、授業のコースの選び方や大学生活についての説明を受けました。オリエンテーション中、毎日色々なイベントがあり、他の新入生ととても仲良くなることができ、楽しかったです。

- 入学式

2週間にわたるオリエンテーションが終わった後に入学式がおこなわれました。日本の入学式とは全く異なり、生徒たちは普段のTシャツ、ジーンズの短パンなどの私服でとてもカジュアルな雰囲気でした。式の直後も学校側がハンバーグ、ホットドッグを提供したバーベキューがありました。Brown University では随所に学生同士あるいは学生と教員や大学関係者が仲良くなれる機会を用意していると思いました。

【授業】

Brown University は 9 ~ 12 月、2 ~ 5 月の二期制となっています。卒業要件は 4 年間 (8 学期) で 30 コース以上を受講することとなっています。私は今学期 4 つのコースを選択することにしました。Brown University では専攻したいと考えている分野に制約されず、個人が受けたい授業をすべて自由に選べる Open Curriculum という制度が採用されています。しかし、専門科目を受ける前に基礎的な必修科目を履修しておくことが要求されているため、今学期はすべて基礎的な必修科目を選択しました。私が選択した科目は以下のとおりです。

- CHEM 0330: Equilibrium, Rate, and Structure

原子の電子構造、熱力学、平衡、電気化学、反応速度、などを扱う化学の授業です。理系の専門授業の多くは本授業を必須としているため 300 人近くの学生が履修しており、とても大規模なクラスでした。週に 2 時間半のレクチャー、4 時間半の実験、1 時間半のグループセッション、と計 8 時間半のコースです。教授がとても楽しそうに授業を進めていたが印象的でした。

- ENGL 0900: Critical Reading and Writing I: The Academic Essay

大学でどのような質のライティングが求められているかを知ると同時に英語の読み書きに慣れる目的で受講することになりました。週 2 時間半の授業で、化学の授業とは逆に 16 人の小規模なクラスでした。ディスカッションの機会が多く、色々な人の発想や考え方に触れることができたため、予想外にも今学期の中で最も興味深い授業でした。

- ENGN 0031: Honors Introduction to Engineering

工学専攻には必須の入門授業です。週 2 時間半のレクチャーに加えて、2 時間半の創作講座と 1 時間半のプログラミング入門講座で形成されています。創作講座では木材、金属、プラスチックを扱い、レーザーカッティングや 3D プリンティングを学び、プログラミング講座ではコンピューターを生かして複雑な工学の計算をすることを学びました。様々な視点から工学を学ぶことができとても楽しかったです。

- MATH 0350: Honors Calculus

週 2 時間半の多変数微分積分学の授業です。とても進度の速い授業で、ついて行くのに苦労しました。しかし分からない部分があったら授業中でなく、教授が授業とは別に時間を設けている Office Hours や Teaching Assistant の Office Hours で質問するということを学びました。

【生活】

- The Brown Bubble

Brown University での大学生活はすべてキャンパス内で済んでしまいます。部屋、授業、友達、食事、アルバイト、図書館、ジムまた買い物も Amazon という武器を使うとなにかもが遠くに出ることなく済むため 24 時間をすべて有効に活用できることがとても楽しいです。逆に、意識してニュースや外の世界の状況を知ろうとしなければ、世の中の動きに取り残されるので、アンテナを張り巡らせることが非常に大事であることに気がつきました。

- 寮

Brown University では 1 年生は皆入寮が義務付けられており、事前に記入したルームメイトアンケートを元に学校側から部屋が割り振られます。私は 3 人部屋に割り振られ、一つの部屋を 3 人で共有しています。寮の建物の中心にはラウンジやキッチンがあり、トイレ、シャワー、洗面所等は男女構わず同じ階の人とシェアします。そのため寮で同じ階の人たちとは特に仲良くなることができ、巨大な家族とともに過ごしている気分が毎日が楽しいです。

- 食事

1 年生は Meal Plan という学食を買うためのポイントをあらかじめ一定量買わなくてはならないシステムになっています。そのため、1 年で自炊することはまずありません。キャンパス内にはビュッフェ形式やカフェ形式またファーストフード形式などの様々な形式の食堂があり、Meal Plan のポイントで食事を買います。ポイントは事前に買ってあり、使い切らなくては無駄になるため、必要以上に食べてしまいます。

- 宿題

宿題の量は非常に多いです。入学する前は Brown University がボストンやニューヨークに近い週末には遊びに行けるのではと考えていましたが、勉強量に圧倒され、いまだに実現できていません。しかし、勉強も周りの皆と一緒に頑張ろうという雰囲気があり、そういう友人達に囲まれた環境にいることを幸せに感じます。

- 小学校訪問

毎週火曜日 **Brown University** のプログラムを通して地元の小学校を訪問し、3年生の子供たちに算数を教えています。訪問すると子供たちは旺盛な好奇心を示し、楽しそうに話を聞いてくれるのでとても幸せです。そのため毎週火曜日が本当に楽しみです。このようなコミュニティとの関係を大切にするプログラムが多く存在することはアメリカの長所だと思います。

- **Japanese Cultural Association**

日本の文化に興味がある人が集まるクラブです。日本の文化を高く評価し、日本のことをもっと学びたいと思っている人達が多くいることはとても嬉しいことです。ただ意外なことに **Brown University** ではまだ純粋な日本人に出会っていません。

- アルバイト

私はアメリカ国籍がないため **VISA** の関係でキャンパス外の仕事をすることはできませんが、学内で働くことは許可されています。そのため週に4回、朝6~8時に学校の食堂でアルバイトをしています。食堂で働くとそのスタッフの方とも仲良くなることができ、授業では得られないことが色々と学べてとても楽しいです。

- 友達

Brown University に来て一番恵まれていると感じたのは周囲にモチベーションが高い、優秀な人々が多くいることです。生徒達は皆学業に限らず色々なことに興味を持ち、日常の会話でそれが随所に現れるので、とても刺激になります。また **Brown University** では2言語を流暢に話せることは決して珍しいことではなく、3言語を自由に使うことができ人も多くいるため、私も新しい言語に挑戦してみようと思っています。

【最後に】

今学期このような様々な経験ができたのも船井情報科学振興財団の皆様に色々な面で支援をいただいたからのことだと思います。とても感謝しております。大学での生活パターンや学業に対する時間の取り方も理解してきましたので、来学期はさらに新しいことに挑戦していきたいと考えています。今後ともよろしくお願いします。